

Flower Pick Up

フラワーピックアップ



TSUBAKI

青い海と空に映えるつばき 伊豆大島の3 椿園を訪問

『国際優秀つばき園』認定！
～椿花ガーデン・都立大島高校・都立大島公園～

見事、『国際優秀つばき園』として同時認定された「椿園」は、椿花ガーデン、都立大島高校、都立大島公園の3 園です。今回は、ただ訪問するだけでなく、これらの「椿園」を管理運営されている方々から直接お話をうかがうことができました。

では訪ねた順番でそれぞれの園の特徴・魅力をご紹介します。

伊豆大島といえば『椿』が有名ですね。都はるみが「アンコ椿は恋の花」を歌ったのは1964年ですので、50年以上前から伊豆大島イコール椿というイメージが出来上がっており、一つのブランドとして確立されています。

そんな伊豆大島の椿を訪ねるべく、昨年12月、東京竹芝栈橋から伊豆大島に向けて船に乗りました。今回の訪問の目的は、国際ツバキ協会によって『国際優秀つばき園』の認定を受けた3つの椿園を取材することです。大島には個性のかつ本格的な『椿園』が3つもあること、さらにその3つが全て国際的に認められたこと、その秘密や魅力を知りたい、そしてそのことをGAの皆さんに紹介したいと思い、今回の訪問になりました。



椿花ガーデンで

椿花ガーデン

ここは一言で言うと「魅(み)せる椿園」です。

椿と大島の自然の美しさ、素晴らしさで、訪れた誰もが魅せられてしまう工夫がされています。とにかく園内の椿は生き生きと育っています。大島の太陽に当たって葉が美しく光り輝き、花も大きく咲いています。管理の工夫として、堆肥の有効活用、海水を利用した微量要素の供給、刈り込み仕立て法など、山下社長の植物への愛情と長年の観察から生まれた様々な技術が活かされています。また、三原山の中腹に位置する地

形を利用して、椿と海、その向こうには富士山を一枚の絵のように見ることが出来る芝生広場は最高の眺めです。椿以外にツブキやアジサイも植栽されていて、椿を引き立てると共に、椿の咲いていない季節も楽しめるガーデンになっています。社長のたゆまぬチャレンジ話を交えたガイドつきでガーデンを巡ると数倍楽しめますので、訪れた際には是非「山下社長はいらっしゃいますか？」とお尋ねください。



山下社長が一人で開墾したという芝生広場からの素晴らしい眺望



枯葉を集めて微生物を育てる堆肥施工の様子



希釈した海水を掛けると葉が美しく健康に育つと語る山下社長

都立大島高校

高校の中に造られたこちらの椿園は「人をそだてる椿園」と感じました。教育的な工夫も各所に見られます。

都立大島高校の農林科の生徒さんが先生の指導を受けながら椿園を管理運営しています。主園としての椿園、洋種椿園、変り葉・伊豆大島産椿園の3区画からなり、その特徴にあった管理がなされています。椿の品種や原種を保管し特徴を調査するだけでなく、大島の椿を地域資源として学習の対象としています。ここで採取した椿の実を島内の椿製油工場に持ち込み、椿油製品を作って都内のデパートで販売を経験するという活動を行ったり、椿まつり期間中の週末には生徒による椿園ガイドツアーが行われていたりします。これらの取り組みを、アサヒグループによる未来のリーダー育成プロジェクト「アサヒ若武者育成塾」で発表したところ、「地域ブランド貢献賞」を受賞されたとのこと。こうした生徒さんたちの活動を、大島高校椿園の椿が、島民の方々や先生方と一緒に温かく見守っているように感じました。



主園全景



日本でも有数の大きさのハルサザンカ(ヤブツバキとサザンカの雑種)「笑顔紅」



生徒による椿ガイドの様子



生徒考案の樹名板(QRコードにアクセスすると、開花時期以外でもスマホで花の写真を見られる)を説明する金子先生

都立大島公園



展示温室



珍しい黄色椿(金花茶)



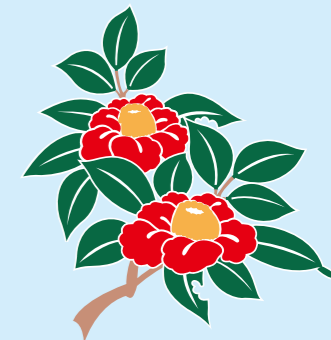
起伏に富んだ地形を活かした広大な公園について説明する庄野主事



椿資料館内部(特殊加工したドライフラワーで1年中椿の花が見られる)

ここは「すべてを学べる椿園」と言って良いでしょう。

都立大島公園は、伊豆大島の東海岸に位置しており、動物園やキャンプ場・ロッジの宿泊施設、海岸の雄大な景色や天然記念物の植物を見ることのできる海岸遊歩道などが整備されています。この椿園は、東京都立公園として運営されているため、その規模(敷地面積も7ha以上あります)は圧巻の一言で、品種数で1,000品種もの椿が栽培・管理されています。園芸品種で3,200本、ヤブツバキで5,000本の椿が、産地別や花色別、原種や外国産品種などによって整然と分けられており、この椿園を訪れることで世界中の椿について知ることが出来ます。また、園内にある椿資料館では、世界における椿の分布や品種解説が見られるだけでなく、椿にまつわる美術工芸品や工業製品なども展示され、椿についての知識をより深めることができます。



後記

この記事が読者の皆さんのお手元に届くのは3月初めですが、「伊豆大島 椿まつり」は3月25日まで開催されています。是非一度、伊豆大島を訪問されて、椿を楽しんでみてはいかがでしょうか。

[取材・文:(公社)日本家庭園芸普及協会 GA 委員 立花 隆一]

今回の訪問では、椿花ガーデンでは山下社長、大島高校では江森副校長、金子主任教諭、齋藤主幹教諭、大島公園では中堤事務所長、庄野主事の皆さんにお話を聞くことができました。今回お会いできた皆様からは、椿への愛情と伊豆大島を椿で発展させようとの熱い思いを聞かせていただきました。この3椿園の管理者の皆さんが互いに情報交流を行っているとのこと。『国際優秀つばき園』認定にとどまらず、さらにより椿園にして、お客様に満足いただくよう努力されていることに感銘を受けました。